

Step UP!

2015年5月22日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 40 編集責任者 情 宣 部



2015年5月14日～18日にかけて、復帰43年5.15沖縄平和行進が開催され、JR貨物労組青年部から15名（JR総連青年協議会全体で47名）が参加しました。戦後70年、沖縄が日本に復帰して43年になる今年の平和行進は、辺野古新基地建設反対、基地のない沖縄を実現するために全国から労働組合や平和団体、市民団体が結集しました。



15日は佐久間青年部長、後藤副部長が辺野古キャンプ・シュワブゲート周辺の抗議行進に参加し、座り込み行動にも参加しました。

16日は貨物労組青年部の参加者が全員集合し、宜野湾市役所～宜野湾市海浜公園野外劇場まで約8kmの距離を貫徹



しました。例年より短い距離ではありましたが「辺野古新基地建設反対!」「高江ヘリパット建設阻止!」と青年部らしく元気よくシュプレヒコールを行いながらの行進となりました。

17日は沖縄県民大会に参加し、那覇セルラースタジアムに約3万5000人の仲間が結集しました。参加者全体で「辺野古新基地NO、我々は屈しない!!」とプラカードを掲げ、新基地建設反対を訴えました。

最終日はひめゆり平和祈念資料館と旧海軍司令部壕を見学し、沖縄の歴史を学ぶとともに戦争の悲惨さを改めて思い知りました。今回の平和行進は安倍首相が安全保障法制関連法案の閣議決定の会見や、オール沖縄として辺野古新基地建設反対でたたかっていることもあり、国内外から注目され緊張感のある平和行進となりました。戦争のできる国への流れが止まりません。無関心でいることは簡単ですが、無関係ではられない所まで来ています。もし、自分の住んでいる所に基地があったらどうしますか?



悲惨な戦争を2度と起こさせないために青年部として、自分たちの将来のために平和運動を今以上に推し進めていきましょう!

全国の仲間と交流